

日本図書館文化史研究会  
2008 年度第 2 回研究例会のご案内

2008 年度第 2 回の研究例会を、下記のように開催します。

今回の例会は、本年 8 月に逝去された鬼頭梓氏を偲んで、藤原孝一氏に鬼頭氏の作品をご紹介いただき、日本の図書館建築の歴史を学ぶ、特別企画としました。是非ともご参加ください。なお、第 3 回研究例会を開催する函館市中央図書館は、鬼頭氏の遺作でもあります。

研究例会・運営委員会終了後、会場近辺で懇親会の開催を予定しています。あわせてのご参加を期待します。

記

- 日 時 12 月 20 日（土） 14 時～16 時
- 場 所 明治大学 アカデミーコモン 8 階 司書・司書教諭課程室  
[http://www.meiji.ac.jp/koho/campus\\_guide/](http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/)
- 参加費 無料
- 申込方法 参加ご希望の方は、本研究会事務局まで、郵便、ファックス、または電子メールでお申込ください。
- 申込締切 12 月 13 日（必着） でお申し込みします。

○ 報告者

藤原 孝一（藤原建築アトリエ）

○ 報告題名

恩師 鬼頭梓の図書館

○ 報告要旨

私が偶然に前川国男事務所に勤めていた鬼頭さんに出会って、今年 8 月 20 日亡くなられるまで 45 年近くが過ぎました。この間、多くの図書館の設計に恵まれましたが、図書館とその建築は大きく変わってきています。それに対して鬼頭さんは何を思いどう設計したのか、鬼頭事務所の作品をとおして見てゆきます。

非常に短い時間ですが、私の思っている建築家としての鬼頭梓をお伝えします。